

教員採用6割減

340↓145人に
過去10年で最低

大阪府教育委員会は十二日、平成十一年度の公立学校の教員採用について、新規採用予定数を百四十五人とし、前年度より百九十五人、約六割減とすると発表した。危機的な財政難により府が来年度の事務職員の採用中止を決めるなか、過半数の採用予定数は小

去十年でもっとも少ない採用計画。これにより、教員の平均年齢は昨年度の四十四歳からまたアップするほか、採用人数の減少分を講師に頼るケースもでてきた。府教委の採用予定数は、前年度より約半分に減り、一財政難のなかで採用ゼロも念頭に検討し、最低限必要な数にとどめた。

（府教委教職員課）とい

児童生徒が急減した昭和六十三年採用では、前年度の四百五十人から三百五十人に減るケースがあったが、今回の減少率は当時をも上回る。採用予定数でも過去十年で最低だった平成

元年度の百九十五人を五十人も下回った。このため、十一年度は、教員数が定員に満たないために採用する定数内講師の数が、これまで以上に増えるようだ。

黒川芳朝教育長の話

「採用数を増やして世代交代を図るのが望ましいが、教員採用を多くすると、将来に財政的負担を引き起こすことになる。来年度の講師の数が減らないとはいえないが、教育水準は低下させない範囲で採用予定数を決めた」

大阪市も大幅減
大阪府教委も十二日、十

就職率 92.8%

大学や短大などを今春卒業した学生のうち、就職希望者の就職率（内定を含む）は、四月一日現在で九二・八％と前年同期より一・二％と前年同期より一・四％下がったことが十二日、文部省と労働省の共同調査で分かった。特に四年制女子大が四・五割減、短大が三・九割減と女子にとりて厳しい就職戦線だった。

大学や短大などを今春卒業した学生のうち、就職希望者の就職率（内定を含む）は、四月一日現在で九二・八％と前年同期より一・二％と前年同期より一・四％下がったことが十二日、文部省と労働省の共同調査で分かった。特に四年制女子大が四・五割減、短大が三・九割減と女子にとりて厳しい就職戦線だった。

前年比1.4%下落
女子大者4.5%と大幅

男女別では、男子の場合、四年制大学は一・〇％（七割減）、中部九三・四割の九四・六％。女子では四年制大学は九〇・五％と四割八八・八％（三・四割減）で、うち女子大減、北海道・東北八八・一・七割減、マイナス二割（〇・八割減）、九州四・五割と大幅に減った。八三・七割（六・三割減）文科系が九二・七割で、六割減だったのに対し、理系は九五・七割と〇・三割上回った。

大阪府の地域別就職状況では、関東の九七・三％（〇・一割増）がトップ。

大阪府の地域別就職状況では、関東の九七・三％（〇・一割増）がトップ。

一年度の教員採用予定数を発表。小学校約十人、中学校約六十人、高校約十五人の計八十五人で、前年度より三十五人減少。養護教諭などは前年度と同じ若干名となった。

大阪府と大阪市の教員採用試験の願書は、二十日から二十九日まで両教委教職員課で受け付け。七月から九月にかけて二次、三次選考が行われ、十月上旬に合否結果が発表される。

産経新聞

1998. 5. 13.

AA19980074 J1

1998. 5. 13.

読賣新聞

AA 1998 00 74 J 2

来年度の公立校

教員採用最低に

過去10年 財政難で府195人減

府の来年度の公立学校教員採用予定者数が、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ

た。府の財政危機機による人件費へのしわ寄せが大きく、前年度比百九十五人の大幅減。府教委では「子供の教育に支障をきたさないぎりぎりの人数を確保した」としているが、教職員組合では教員の高齢化や、二、三十歳代が少ないといった年齢構成が解消されず、深刻化する子供の問題行動に対応できる若い力が育たないを反発している。

府教委によると、来年度の採用予定者数は計約百四十五人。内訳は小学校約五十人、中学校約四十人、高校約三十五人など、前年度に比べ小学校で百三十人、中学校は六十人減。過去十年間の採用予定者数は、児童、生徒急減期の一

府の来年度の公立学校教員採用予定者数は、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ

府の来年度の公立学校教員採用予定者数は、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ

た。府の財政危機機による人件費へのしわ寄せが大きく、前年度比百九十五人の大幅減。府教委では「子供の教育に支障をきたさないぎりぎりの人数を確保した」としているが、教職員組合では教員の高齢化や、二、三十歳代が少ないといった年齢構成が解消されず、深刻化する子供の問題行動に対応できる若い力が育たないを反発している。

府教委によると、来年度の採用予定者数は計約百四十五人。内訳は小学校約五十人、中学校約四十人、高校約三十五人など、前年度に比べ小学校で百三十人、中学校は六十人減。過去十年間の採用予定者数は、児童、生徒急減期の一

府の来年度の公立学校教員採用予定者数は、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ

カウンセラーの資質判断

教員採用試験 概要を発表 面接官も研修

府、大阪市は十二日、公立学校教員採用試験の概要を発表した。それによると、受験者が子供の悩みの相談に乗れるカウンセラー的な資質を持つているかどうかを判断するため、試験の面接官にスクールカウンセラーの研修を受けてもらうなど、選考方法に新たな試み

府、大阪市は十二日、公立学校教員採用試験の概要を発表した。それによると、受験者が子供の悩みの相談に乗れるカウンセラー的な資質を持つているかどうかを判断するため、試験の面接官にスクールカウンセラーの研修を受けてもらうなど、選考方法に新たな試み

府、大阪市は十二日、公立学校教員採用試験の概要を発表した。それによると、受験者が子供の悩みの相談に乗れるカウンセラー的な資質を持つているかどうかを判断するため、試験の面接官にスクールカウンセラーの研修を受けてもらうなど、選考方法に新たな試み

府の来年度の公立学校教員採用予定者数は、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ

た。府の財政危機機による人件費へのしわ寄せが大きく、前年度比百九十五人の大幅減。府教委では「子供の教育に支障をきたさないぎりぎりの人数を確保した」としているが、教職員組合では教員の高齢化や、二、三十歳代が少ないといった年齢構成が解消されず、深刻化する子供の問題行動に対応できる若い力が育たないを反発している。

府教委によると、来年度の採用予定者数は計約百四十五人。内訳は小学校約五十人、中学校約四十人、高校約三十五人など、前年度に比べ小学校で百三十人、中学校は六十人減。過去十年間の採用予定者数は、児童、生徒急減期の一

府の来年度の公立学校教員採用予定者数は、過去十年間で最低の計約百四十五人になることが十二日、わ